

会社情報／株式情報

会社概要（2015年8月31日現在）			
商号	株式会社SHIFT		
代表者	代表取締役社長 丹下 大		
本社	〒106-0041 東京都港区麻布台2-4-5メソニック39MTビル TEL：03-6809-1165		
設立	2005年9月		
資本金	570百万円		
事業内容	ソフトウェアの品質保証、テスト事業		
取得特許	特許第5787404号 コンピュータプログラムのテスト仕様を生成するための装置およびプログラム		

役員（2015年11月27日現在）			
代表取締役社長	丹	下	大
取締役 C F O	福	元	啓 介
取締役	小	林	元 也
取締役	鈴	木	修
取締役	中	垣	徹 二 郎
常勤監査役	三	浦	進
監査役(非常勤)	木	呂	子 義 之
監査役(非常勤)	福	山	義 人

(注) 中垣 徹二郎は、社外取締役であります。
(注) 三浦 進、木呂子 義之及び福山 義人は、社外監査役であります。

株式の状況（2015年8月31日現在）

発行可能株式総数	50,000,000株	
発行済株式の総数	14,410,500株	
株主数	4,838名	
上位10名の株主		
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
丹下 大	6,839,500	47.46
Draper Nexus Technology Partners, LP	654,000	4.54
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	424,900	2.95
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	302,500	2.10
株式会社ワークスアプリケーションズ	167,000	1.16
シンプレクス株式会社	167,000	1.16
株式会社ビットアイル	167,000	1.16
Mistletoe株式会社	167,000	1.16
Draper Nexus Partners, LLC	125,500	0.87
山梨 剛史	122,500	0.85

株式分布の状況



株主メモ			
事業年度	9月1日から 8月31日まで	郵便物送付先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
定時株主総会	毎年11月	電話照会先	0120-782-031(フリーダイヤル)
基準日	8月31日	公告掲載方法	当社ホームページに記載しております。 http://shiftinc.jp
剰余金の配当の基準日	8月31日及び2月28日 (閏年においては2月29日)		
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号		



BUSINESS REPORT

2015年8月期
(第10期)

身近な生活の場面で役立っているソフトウェアテスト

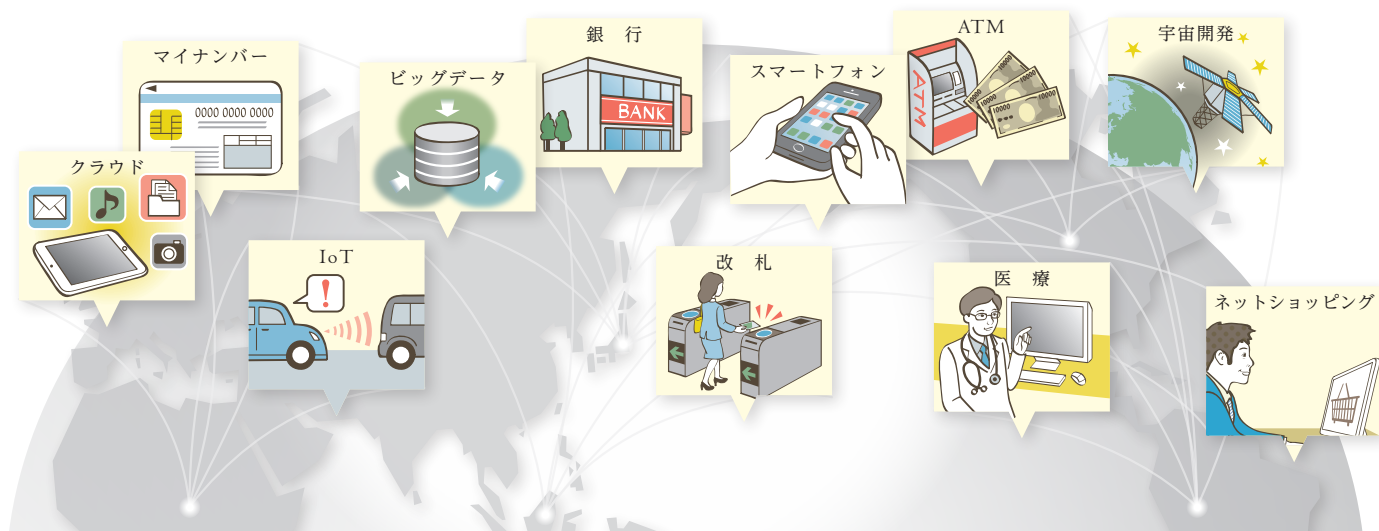
日々、便利になる私たちの生活は、数えきれない程のソフトウェアプログラムにより支えられています。

例えば、スマートフォンアプリ・ATM・ネットショッピングがその代表例です。

私たちはそれらを利用する度に、正しく動作するか不安を感じながら使うことはありません。

どんな時でも正しく動作することが、当たり前と感じているからです。

ソフトウェア製品が利用者に提供されるまでには正しく動作するための確認作業と修正作業が必ず必要であり、実施されています。この正しく動作するための確認作業を「ソフトウェアテスト」と呼びます。



ソフトウェアテストの流れとSHIFTのサポート



単なる「テスト会社」ではないSHIFTの役割

私たちは品質保証の観点から、安心安全なソフトウェア製品を提供するスペシャリスト集団です。

リリース前のソフトウェア製品に対するいわゆる「テスト業務」はもちろんのこと、SHIFTは、最強の黒子役として、製品の企画・開発段階からお客様をサポートいたします。

より品質の高い製品、より魅力的な製品、より安全な製品を世の中に提供するために、また開発に携わるすべての人が効率的にやりがいを持って業務を進められるよう必要なサービスを創出、提供してまいります。

『すべてのソフトウェアにMade in Japanの品質を』

人々の日々の生活をより豊かに。

「ソフトウェアにおける品質保証」という観点から私たちにしか出来ない事があります。



SHIFTはお客様の開発工程にぴったり寄り添い品質向上をサポートするパートナーです。

市場／領域

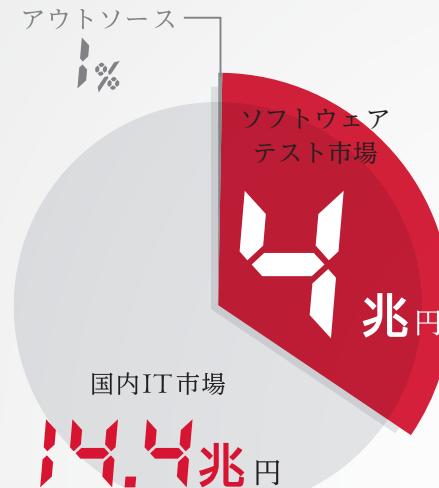
日本におけるソフトウェアテスト市場は、
4兆円のブルーオーシャン

14.4兆円の規模を持つ国内IT業界でもっともセグメント規模の大きいエンタープライズ領域(行政、金融系、WEB系など)を主軸に組み込み系からソーシャルゲームに至るまで、約1%の既存市場での拡大と99%の潜在市場へ向けたアプローチを進めながら幅広い分野で事業拡大中。

今や社会のインフラとなったさまざまなソフトウェアの品質を保証することで、ソフトウェアがより安心、安全に利用できる社会の黒子役として貢献してまいります。

※ 参照データ

日本のIT市場規模：経済産業省 平成26年情報通信業基本調査(平成25年度実績)／ソフトウェア開発とテストの割合：IPA(独立行政法人 情報処理推進機構)、ソフトウェア開発データ白書2012～2013／ソフトウェアテストのアウトソース割合：ソフトウェアテスト専門企業の売上から算出

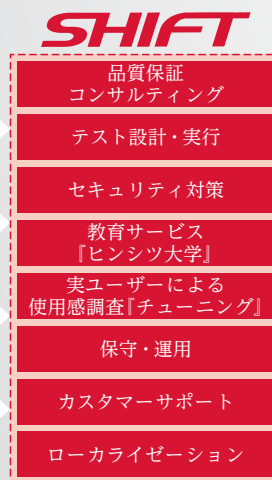


業務内容

ソフトウェア開発初期から
製品リリース後まで、
すべての工程で「品質」を保証する

安心・安全な
ソフトウェア製品を
社会へ。

開発初期段階から「不具合が出づらい／不具合を見つけやすい製品設計」を実現するためのコンサルティングサービスや、実際に、どのようなテストが必要かを策定し、製品を操作しながら不具合の有無を確認するテスト設計・実行業務、製品リリース後のカスタマーサポートまでお客様の品質パートナーとして従事します。



人財

開発、QAの経験を多く積んだ品質コンサルタントと
テスト適性にたけたテストエンジニアが揃う品質保証のプロ集団

『CAT検定*』を使ったテストエンジニア採用の合格率は6%。

人不足が叫ばれるIT業界ではなく、日本の労働人口全体を対象として新しい人材市場を開拓しています。

ソフトウェアテストに関する書籍の著者や、「神ゲーマー」と呼ばれるソーシャルゲームの日本チャンピオン、世界大会出場者まで多岐に渡る逸材が、日々奮闘しています。

※ テストエンジニアとしての素質、適性をはかるSHIFT独自のテストエンジニア採用試験

『CAT検定』合格者数のみ採用

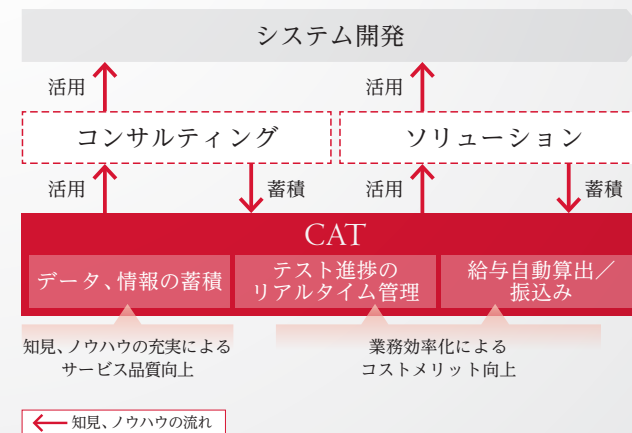
20,000人受験 → 6%合格

しくみ

『CAT』を活用した業務の徹底的な効率化と、
ノウハウの蓄積、活用を繰り返す
グッドサイクルの確立

製造業で培った徹底的な業務の効率化と標準化のノウハウを武器に、日常業務におけるコスト効果を追求。

ソフトウェアテスト管理ツール『CAT』を活用することにより、不具合情報、関連データを蓄積し、既存サービスの更なる品質向上と、より利益率の高い非属人的ビジネス、知見を活用した新たなサービスの創出を進めております。



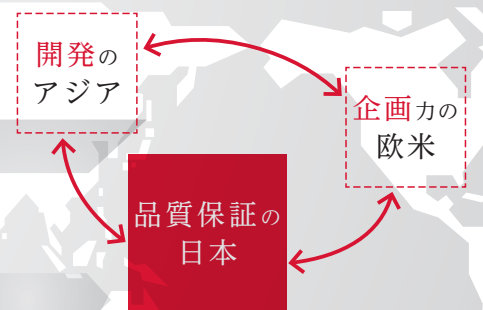
目指す未来

ソフトウェア開発における、
国際分業化へ向けた
日本のポジショニング

「Made in Japan」ブランドに裏付けられた日本品質。

それは少なからず日本の品質保証力が担っているのではないのでしょうか。

まじめで細やかな国民性を生かした、品質保証エンジニアという職業を確立し、品質保証における「世界標準」を作るインフラになることを目指しています。



『Made in Japan品質』を世界へ。日本発の新しい価値の創造

新たな価値の提供を目指して

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに当社2015年8月期(2014年9月1日～2015年8月31日)のビジネスレポートをお届けいたします。

2014年11月13日に東証マザーズへ上場し、本日、無事株主の皆様へ初めてのビジネスレポートをお届けできること、大変嬉しく思います。

2008年、初めて見たソフトウェアテスト業界の属人的な現場に大きな改善の可能性を感じ、『ソフトウェアテストを科学する』べく走ってまいりました。当初は、まだ実績も知名度もなく営業活動も話すら聞いていただけない日々が続きました。しかし、この業界について知れば知るほど、私自身が製造業を通して教わった『Made in Japan品質』を支えてきた技術を応用し、ソフトウェア業界を改革できる、もう一度、「日本品質」で世界を圧倒することができるという思いは強くなる一方でした。

自分の判断を信じ、ひたすら走り続け、新規のお客様がまったく取れなかった1年間。やっとの思いである医療系の介護システムを開発されている企業様からお仕事をいただいた時は、“いける！”という自信と、“会社の存続をかけ、失敗は許されない”という恐怖

にも似たプレッシャーを強く感じたことを今でも覚えております。

結果、プロジェクトは成功を収めその実績を持って再度「第三者視点で行うソフトウェアテストの重要性」の啓発と営業活動を進めてまいりました。もちろん、目指す先はまだ遠く企業としてもまだまだ未熟ではありますが、大小問わず成功を1つずつ積み重ねてまいる所存でございます。

SHIFTを取り巻く市場環境

およそ4兆円を占める国内ソフトウェアテスト市場は、マイナンバー制度の導入や、大手機関におけるシステム刷新、頻発・高度化するサイバー攻撃への対策、IoT製品の普及などによるソフトウェアの複雑化・大型化に伴い、拡大の一途を辿っております。

一方でテスト市場は、大きな需要規模と重要性に反して、同業他社も少なく、市場として十分な顕在化が進んでおりません。テストのアウトソーシング化につきましても、全体では1%程度と低く、弊社の成長に対するポテンシャルの高さを意味しておりますが、また同時に「第三者視点で行うソフトウェアテストの重要性」の啓発活動によるニーズの創出が1つの大きなチャレンジだとも考えております。

更なる成長へ向けての取り組み

SHIFTの成長の源泉、それは、『新しい価値の概念を追求し、誠実に世の中に価値を提供する』企業になるということです。日本を代表するソフトウェアの品質保証を担う会社として、世界に通用する社会インフラとなることを目標に、まずは業界No.1となるべく100億円企業を目指し、1,000億円企業としてソフトウェア品質保証における世界標準を提唱する企業として、より安心安全なソフトウェアの提供を通して新しい価値を生み出していければと考えております。

1,000億円企業になるための100億円を目指す取り組みとしましては、企業成長の機動力となるエンジン(サービス)の強化、サービスと顧客双方でのビジネス領域の拡大、またそれによる企業成長に耐えうる受け皿(ビジネスインフラ)の整備を主軸とした成長戦略『SHIFT' 100 ーシフトワンハンドレッドー』を推進してまいります。

本年度は、主に弊社のメイン領域エンタープライズで大きな市場規模を占めるSIer業界への本格的な参入を目指したサービスモデル確立、エンターテインメント領域での更なるシェア獲得、IoT領域への進出と、受注受け入れ能力の拡大を重点項目とし、前年比(2015年8月期)40%を超える成長を目指してまいります。

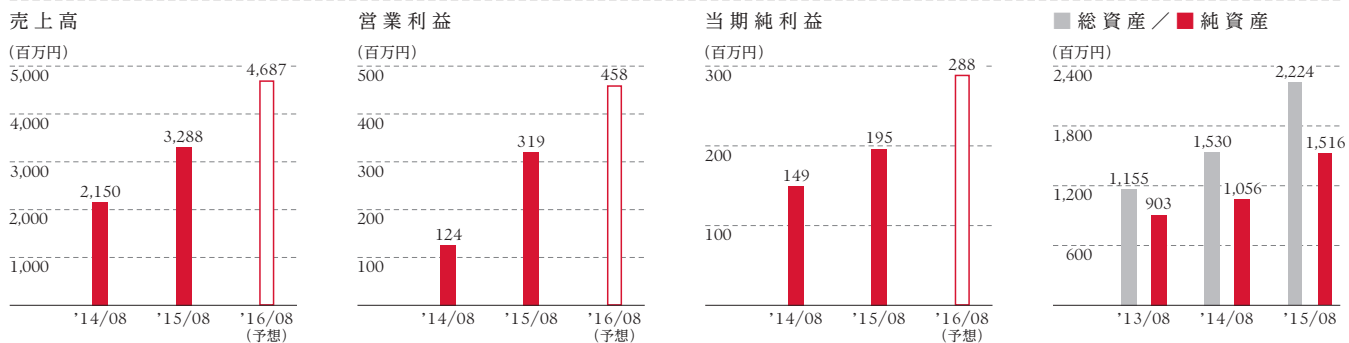
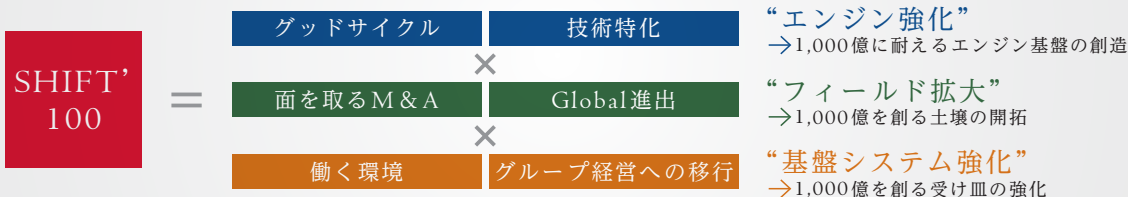
代表取締役社長

丹下 大



今後の方針と計画

1,000億を実現するための100億を創る3つの重点施策



※上記業績は、連結ベースで記載しております